

資料 1 前回都市計画審議会の振り返りと対応

< 令和 6 年度第 2 回朝霞市都市計画審議会 >

日時：令和 6 年 10 月 2 日（水）14：30～16：30

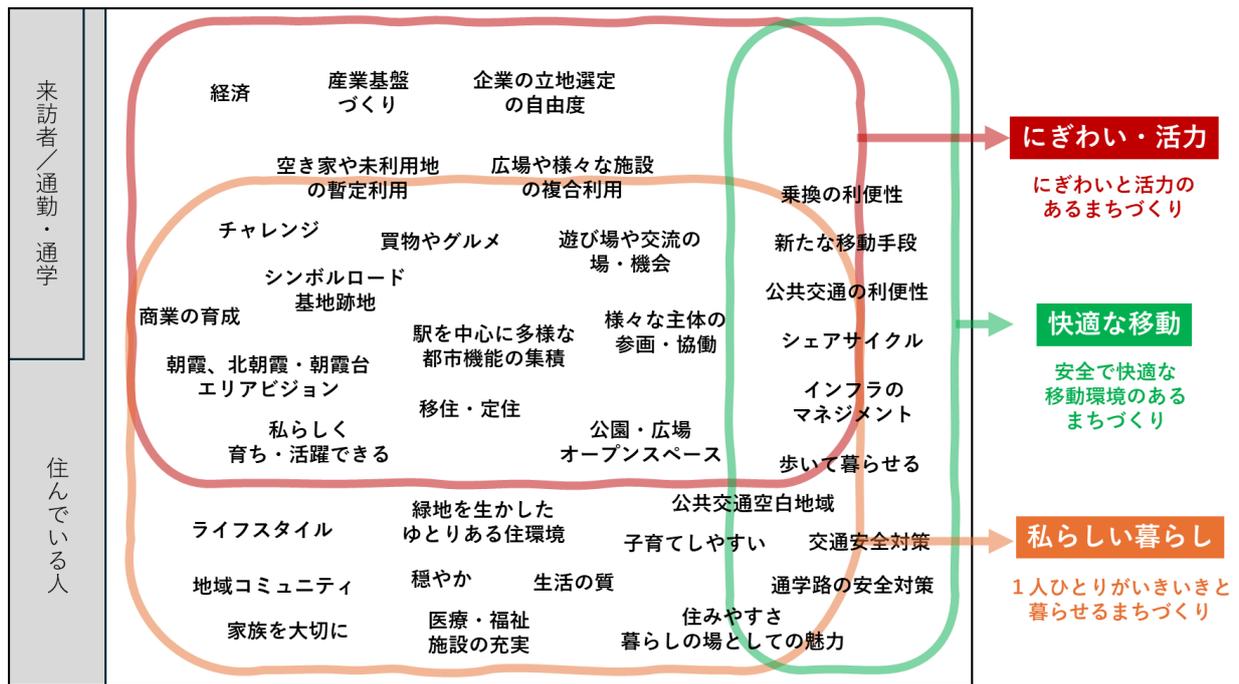
場所：朝霞市役所 別館 5 階 大会議室

ご意見（要約）	対応方針
●都市計画マスタープランの構成	
市民に計画が伝わる工夫を行うことを前提に「テーマ型」で進めることでよい（異議なし）	「テーマ型」の構成を基本に検討を進め、とりまとめにおいては市民へのわかりやすさに重点を置く。
●まちづくりの 5 つのテーマ	
日常生活において DX 化が進行していることから、都市マスにおいても DX に触れておくべきではないか。記載しない場合は、他の計画で取り扱っているという表現が必要ではないか	「朝霞市の取り巻く社会動向」の 1 つの項目として DX を追加する。
地域コミュニティがまちづくりのテーマに含まれていないので追加してもらいたい	地域コミュニティは「暮らし」のテーマに含まれ、地域活動の活発化に向けた空間や施設整備は都市マスでの対応となるが、地域コミュニティ活動の推進に関しては総合計画が担うことになる。
テーマの重要度のメリハリの表現方法等は検討を進めてもらいたい	テーマの性格は大きく 2 種類あると認識しており、各テーマの関係性を P3 に整理した。
住宅地の開発等により不均衡な人口が誘導されたことで新たな公共施設の整備が必要になったという事実を記録し、きちんと施設の立地誘導を図るよう注意してもらいたい。また、市街化調整区域での開発を抑制するような工夫をしてもらいたい。	ご指摘を踏まえ、これまでの 20 年間の変化の中で記録として残しておくこととする。 （残し方は検討中） また、市街化調整区域での開発抑制に関しては、本編の中で「無秩序な都市開発を抑制する」旨の記述を追加することを検討する。
高齢者支援施設等のまちなかへの誘導を進めることで世代間のつながりを高めるといった視点でもまとめてもらいたい	暮らしのテーマにおける「暮らしを支える都市機能の充実」のなかで世代間のつながりにについても触れていく。
「暮らし」にもほかのテーマと同様に形容詞が入っている方が良いのではないかと 包摂的な要素を意識したワーディングが望ましい	ワークショップの中でも「私らしく」といったキーワードが出ていたことから、暮らしのテーマを「私らしい暮らし」と変更する。 「私らしい暮らし」とは、1 人ひとりの考えを尊重し、それを受け止められるまちであること。それは誰にとっても居心地の良いまちであり、朝霞の魅力につながるとの考えから設定した。

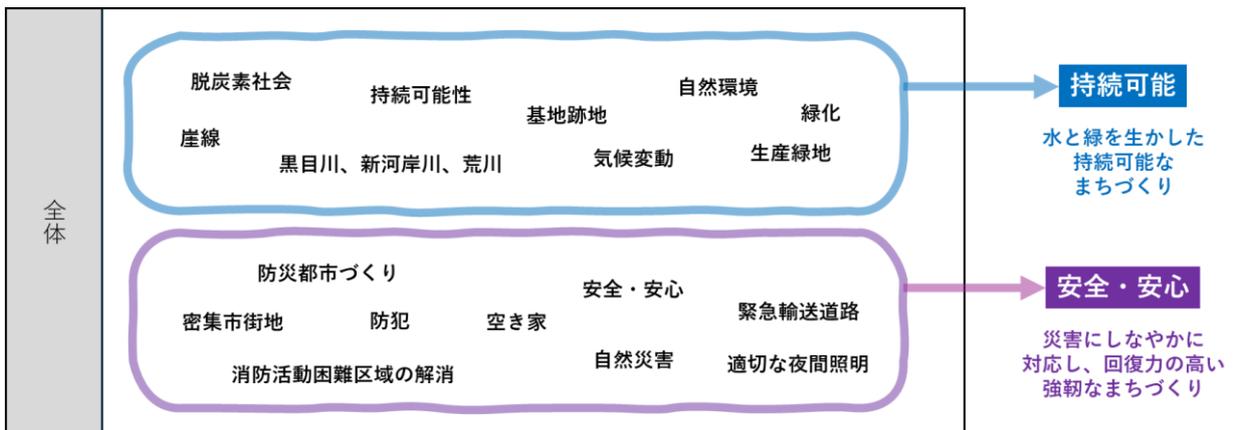
ご意見（要約）	対応方針
朝霞市の取り巻く社会動向の整理が網羅できているのかを説明してほしい	社会動向に関する資料を各委員に郵送し共有した。
キーワードからまちづくりのテーマを説明する図をより市民に分かりやすい表現にすること	計画書のとりまとめの際には、市民に分かりやすい表現とすることを意識して整理する。
現況整理の防災の категорияに「防犯」が含まれているなど、categoryの名称と項目が一致していないところがある	現況整理のcategoryが項目と一致しているか再度確認するとともに、ご指摘のあったcategoryは「防災・防犯」とする。
脱炭素や持続可能性などのやらなければいけないことが「安らぎ・心地よさ」としてテーマ設定されているが違和感があるため見直しを検討してもらいたい	ご指摘を踏まえ、持続可能なまちづくりを進めるとの観点から、テーマを「持続可能」に変更する。
「暮らし」の多様性に関する項目では、障がい者への対応についても取り上げる必要がある	暮らしのテーマの目標を「誰もがいきいきと暮らせるまちづくり」との表現に変更する。
●将来都市構造	
黒目川に関する景観の部分についても表現してもらいたい	景観に関する部分など、個別の要素は各テーマの方針図で表現していく。
都市計画道路の未整備区間の見直しについて、早めに結論を出すことが必要である	全てのテーマの方針図を皆さんと議論し、最終的に将来都市構造図として何を表現すべきかを再度議論させていただく。
●その他	
市民が見たときに朝霞市が大事にしていることが一目でわかるような見栄えにしていきたい	本編の作成においては、読みやすく、手に取っていただけるよう表現等を意識し取り組んでいく。

■テーマ設定の考え方

○朝霞らしさを伸ばすキーワード



○都市基盤の土台となるキーワード



< 5つのテーマの関係性 >

